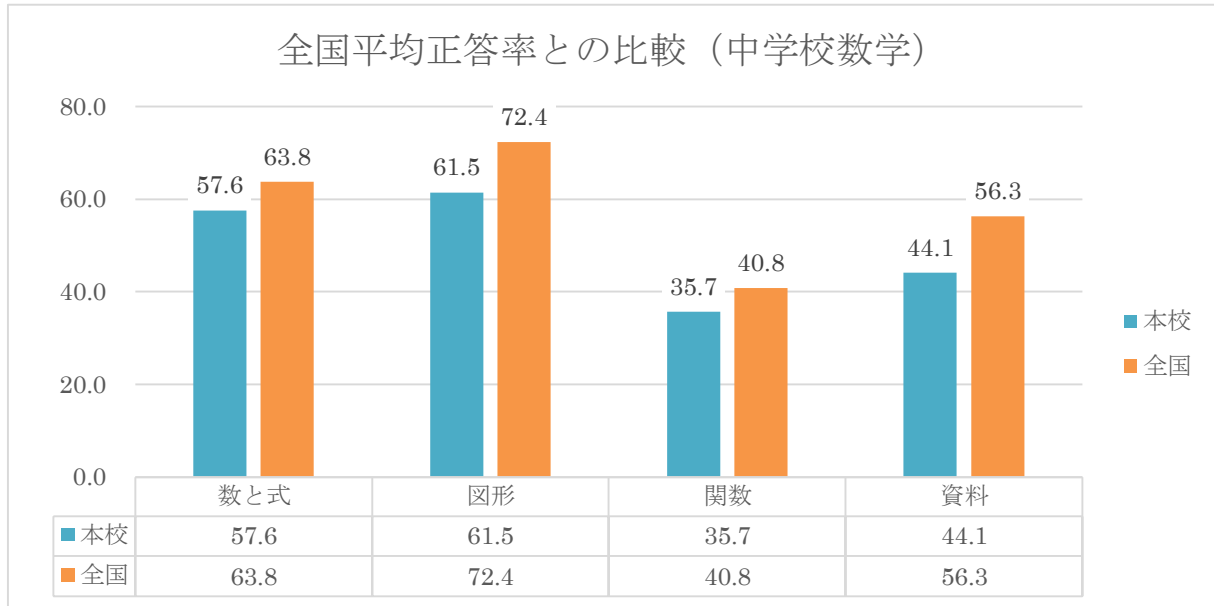


## 2 数学

### (1) 結果

#### 学習指導要領の領域等の全国正答率との比較（平成31年4月18日実施）



すべての領域において、全国平均を下回っており、特に、図形領域と資料の活用領域では、全国平均を10ポイント以上下回っている。また、問題別で見ても、ほぼ全ての問題で全国平均を下回っており、特に、まとめられた表から最頻値を求める問題の正答率は、全国平均を20ポイント以上下回っていた。

### (2) 各領域における成果と課題

#### 数と式

- ・数の集合と四則計算の可能性についての問題は、全国平均とほぼ同じであるが、その他の問題は全て全国平均を下回っている。特に、簡単な連立方程式を解く問題では、5人に2人が正解できておらず、全国平均も10ポイント程度下回っているため、連立方程式の解法の復習を行う。

#### 図形

- ・全ての問題で全国平均を下回っていた。特に、証明で用いられる三角形の合同条件を書く問題では、全国平均を18ポイント下回っていたので、三角形の合同条件をはじめとする、図形に関する基礎的な内容の復習を行う。

#### 関数

- ・ほとんどの問題で全国平均をやや下回っていた。全体的に与えられた式やグラフを用いて、問題解決の方法などを見いだすことが苦手な様子なので、関数の利用の問題を中心に復習を行う。

#### 資料の活用

- ・全ての問題で全国平均を下回っていた。特に、資料を整理した表から最頻値を読みとる問題では、全国平均を約23ポイント下回っていたので、「資料の活用」の単元で扱う語句の意味や、それらの活用方法を復習する。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 授業では、「話し合う」活動を積極的に行い、理解を深める工夫を行う。3年生では、単元の一部に習熟度別の少人数授業を行っており、生徒に合った難易度の問題に取り組み、個々の課題を明確にする。課題解決に向けては、個別指導や放課後学習会等を活用しながら学力の定着に努める。
- 定期テストや実力テストなどの前後は、確認テストを行ったり、放課後学習会を開いたりして、生徒の苦手な部分を克服する工夫を行う。

#### 【ご家庭では】

##### 予習の仕方

- 教科書の次の授業範囲を読み、大切だと思ふところにアンダーライン等を引きましょう。
- 例題を解き、解けなかった例題、問題に印をつけて、次の授業で必ず質問しましょう。

##### 復習の仕方

- 授業で学習した課題は、その日のうちに必ず復習をしましょう。
- 本当に理解できているか、実際に問題を解いて、確かめましょう。解き方が分からないときは教科書の例題やノートを見ながら解きましょう。